

萌黄 (もえぎ) 通信

「もえぎ」、とは私の一人娘の名前です。誕生年と創業が同じなんです。



みなさん、今年の冬は雪が多いですね (-_-)。私の住む山梨も今年に入って3回目の雪です。雪降りの翌日が凍結して、実に滑りやすくなるので、すってんコロリンといかないように、注意してくださいね。

車にスタッドレスタイヤを取り付けたからと言って、過信し過ぎて登り道で思いっきりスリップした堀内貢次です。もう少しで、対向車とぶつかるころでした。雪の日は、余裕を持って出かけましょう。

今年に入って2回目の整骨院行き

今年は、新年早々から、首を寝違えて、それが悪化して、炎症を起こし頭痛がして、あまりに首が痛いので、コルセット(ムチウチ病用)使用を余儀なくされました。やっと、痛

みが引いたのも束の間、今度は転んで駐車場のポールの先端に肋骨をぶつけて、ヒビが入ってしまいました。今度は脇腹を固定するコルセットを付けています。今年は厄年で



すかね? コルセット収集家になった気分です。

裏面からの吸い上げ! (再生不可の編)

今年に入って吸い上げ現象の依頼と、テスト施工が相次いで入ってきています。

建物を、傾斜地に建てたり、玄関が地面よりも低い位置にあると濡れ色現象が出やすいようです。

今回のテスト施工は、あるオフィスの外構の床石ですが、まだらのようにシミが出ています。(写真上・左)

ほとんどが水分や、モルタルのアクを吸い上げてのシミですが、洗浄をして、乾燥させると綺麗に乾いた石に戻ります。(写真上・右)

しかし、15分もしないうちに、濡れ色が戻ってきてしまいます。石の裏面に水がかなりの量で溜まっている感じですね。このような現場では、浸透性のコーティングを塗布しても浸透層が出来る前に、裏面からの水分に押し出されてしまい、濡れ色が再発する可能性が非常に高いです。(写真下)

テスト施工でしたので、一応乾燥をさせて、浸透性のコート(ADホワイト)を塗布しましたが、翌日には濡れ色現象が戻っていました。このような症状を作らないためにも、ぜひ、「製品塗布」(石貼り前に、コーティング

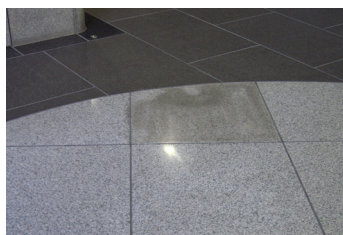


布すること)をお勧めします。
最近のクレームの上位を占めていますので、要注意です。



これは何だ! (滑り止め施工時に注意)

あるオフィスの玄関口に出来た「シミ?」「汚れ?」です。石は本磨きに少しツヤが飛んでいる感じですが、恐らく以前に滑り止め加工をしたのではないかと推測しますが、最初の塗り始めの部分がたつぷりと付いてしまい、石の摩耗が激しくなり、歩



行やモップ拭きで付いてしまったものと思われる。確かに表面の反射が少し鈍くなっています。塗布したらすぐに引き延ばして施工するのが鉄則ですね。

編集後記 先日約束した娘のクラスの英語劇「白雪姫」に行ってきました。賞は取れませんでしたでしたが、主役をやり、いい刺激になったみたいで、積極性が出てきました。

萌黄通信 毎月1回発行

発行編集責任者 (有)ケイ・アンド・エス 堀内貢次

(東京出張所) 東京都港区浜松町1-1-10

(電話) 03-3431-0387 (Fax) 03-3431-7198

<http://www.e-kands.jp>

(メール) kandsstg@jt4.so-net.ne.jp